

VI これからの農業と食料

1. 農家の暮らし

これまで学習してきたように、土地改良事業によって、田んぼや畑は農業機械が使いやすいように改良され、洪水や干ばつの被害もダムや堰によって守られるようになりました。また、作物もおいしくてたくさんとれ、病虫害や寒さに強い品種に改良されてきました。

昔の農家の暮らしは、朝早くから日が暮れるまで働き、牛や馬が機械の代わりでした。また、働く人もお父さんお母さんが中心で、いそがしい時にはお年寄りや子供も協力して働いたものでした。

今では、牛や馬がトラクターやコンバインなどの機械に代わり、作業もはかどって働く時間が短くてすむようになりました。そのため、生活にもゆとりができて、農業以外の仕事をしたり、レクリエーションなどを楽しむ人もふえてきました。



▲大型トラクター



▲直播栽培の水田（会津高田町八木沢地区）



わたしの家では、米とたばこを主に作っています。大型トラクターやコンバイン、乾燥機を使って仕事をしています。大型のトラクターなどは何百万円も